

令和元年度
(2019年度)

子ども未来部の取り組み実績

<部の構成>

子ども青少年政策課、私立保育幼稚園課、公立保育幼稚園課、ひらかた子ども発達支援センター、保育幼稚園入園課

1. 重点施策・事業

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定 及び 待機児童対策の推進

方向性	第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに、本計画で見込む保育需要の増加に対応できるよう、引き続き、通年での待機児童解消に向けて入所枠の拡大を図ります。
取り組み	<p>子ども・子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進するため、現計画を引き継ぐ「第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」の策定に取り組みます。また、本計画で見込む保育需要の増加に対応できるよう、引き続き、通年での待機児童解消に向け、私立保育園の増改築、公立施設の有効活用による小規模保育の実施などあらゆる手法で定員増を図ります。また、渚保育所・渚西保育所について、令和3年度(2021年度)を目途に民営化を進め、統合と施設規模の拡充による定員増に取り組みます。</p> <p>入所枠拡大に必要な保育士の確保については、保育士等就職支援センターを活用し、潜在保育士を就職につなげるとともに、保育士の離職防止に向けた取り組みを検討します。</p> <p><<目標値>></p> <p>保育所の待機児童数：0人</p> <p>保育士等就職支援センターにおけるマッチング数：12件（H30 1件）H31.1開設</p> <p>平成31年度当初予算：815,776千円</p>
実績	<p>第2期子ども・子育て支援事業計画の策定については、「枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会」に計画策定を諮問し、令和元年度（2019年度）中に4回の審議を行うとともに、市民意見聴取を実施した上で、令和2年1月31日に同審議会から答申を受け、令和2年3月に計画を策定しました。</p> <p>通年での待機児童の解消については、南部地域において私立保育所（定員90人）の新設を7月に行うとともに、令和2年度当初には私立保育園の増改築により、さらに50人の定員増を行いました。また、新たに「待機児童用保育室」の設置を進めることとし、令和2年度（2020年度）末に閉園する蹉跎西幼稚園を活用した「待機児童用保育室」を設置するための取り組みを進めました。</p> <p>渚保育所・渚西保育所の統合・民営化については、両保育所を運営する法人の選定審査会を4回開催し、令和2年2月に運営法人を決定しました。また、統合後の新</p>

<p>園舎を建築するための土地の購入に向けた手続きを行いました。</p> <p>保育士の確保については、保育士等就職支援センターを本格稼働し、随時、相談や登録を受け付けるとともに、ハローワークとの連携や再就職につなげるためのセミナーの実施、公共施設や商業施設での出張相談会を開催し、42件のマッチングにつなげました。また、保育士等の雇用促進と離職防止の観点から、保育士等に対する市独自の処遇改善策（月額1万円）を、令和2年度（2020年度）から実施することを決定し、事業周知を行いました。</p> <p>《実績値》</p> <p>保育所の待機児童数：262人（いわゆる潜在的待機児童を含む）</p> <p>保育士等就職支援センターにおけるマッチング数：42件</p> <p>令和元年度決算：724,967千円</p>	
<p>取り組みに対する達成状況</p>	<p>【 ○ 】</p>

<p>（2）幼児教育・保育の無償化 及び 保育サービスの充実</p>	
<p>方向性</p>	<p>国が進める保育所、幼稚園などを対象とした幼児教育・保育の無償化を円滑に実施できるよう取り組みます。また、多様化する保護者のニーズに応じて教育・保育を受けられる環境づくりに向け、保育サービスの充実を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>子育て世帯の負担軽減を図ることによる少子化対策として、国が進める幼児教育・保育の無償化について、市民や事業者が混乱することのないよう十分に周知・説明し、無償化を円滑に実施できるよう取り組みます。</p> <p>また、子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」を活用した情報発信を充実させるとともに、ファミリーサポートセンターのサービスにおいても充実を図るなど、子育ての負担感軽減に向けた取り組みを充実させます。</p> <p>《目標値》</p> <p>子育て応援アプリの0歳児の新規登録件数：1,500件（H30：1,350件）</p> <p>ファミリーサポートセンター事業の無料体験クーポン発行件数：350件（H30：337件）</p> <p>平成31年度当初予算：855,587千円</p>
<p>実績</p>	<p>10月からの幼児教育・保育の無償化については、市民や事業者等が混乱なく、円滑に開始できるよう、事業者向けに無償化に係る説明会を1月から9月にかけて開催するなど十分に周知を図るとともに、給食費の取扱いなど無償化の影響を受ける児童約7,000人に対して周知等を、無償化の給付を受けるために必要となる認定を対象児童延約3,200人に対して行い、通知しました。</p> <p>子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」については、保育士の目線で子育てを頑張っている保護者に応援メッセージを伝えるブログ「ほいくしのホッとコラム」を開設するなど内容の充実にも努めるとともに、アプリのミニ講座の開設や産婦人科へのチラシ掲示など事業周知にも努めるなど、情報発信に取り組みました。また、</p>

	<p>ファミリーサポートセンターの出張登録会を概ね月1回行い、登録会員数の増加に向けた取り組みを進めました。</p> <p>《実績値》</p> <p>(給付額)</p> <p>基本保育料：280,312,720円</p> <p>補足給付(副食費)：7,380,866円</p> <p>預かり保育：12,561,060円</p> <p>子育て応援アプリ0歳児の年間登録数：1,229人</p> <p>ファミリーサポートセンター事業の無料体験クーポン発行件数：308件</p> <p>令和元年度決算：534,191千円</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

(3) ひらかた子ども発達支援センターの開設など障害児支援の充実	
方向性	<p>ひらかた子ども発達支援センターを障害児支援の拠点と位置付け、保育所(園)等で受け入れている障害児や配慮の必要な子どもたちも含め、障害児支援の充実を図ります。</p>
取り組み	<p>平成31年4月に開設した「市立ひらかた子ども発達支援センター」では、これまでの施設から入所枠を拡大し、通所する子どもたちへの支援の充実のほか、発達上支援が必要な在宅の子どもへの地域支援事業や相談支援事業の充実を図ります。</p> <p>また、公立の保育所等への巡回相談及び私立保育所(園)等への保育相談を通して、より良い集団保育が各園で展開できるよう努めるとともに、障害児に関する研修を通して、市全体の保育の質の向上に向けた取り組みを展開します。</p> <p>あわせて、障害児の受け入れ等に関する保育環境の整備として、香里団地保育所のホームエレベーター設置に向けて取り組みます。</p> <p>平成31年度当初予算：505,906千円</p>
実績	<p>「市立ひらかた子ども発達支援センター」では、定員をこれまでの2施設計80人から110人に拡大し、通所する子どもたちへの発達や障害に応じた保育・療育を実施しており、地域支援事業や相談支援事業では、組織・人員体制を整え、より対象範囲を広げて取り組んでいます。</p> <p>また、巡回・保育相談については保育所(園)等で障害児を含めたより良い集団保育が確保できるよう、適切な助言に努めました。あわせてセンター職員に向けて保育の質の向上に向けた障害児に関する各種研修を実施しています。</p> <p>近年、重度障害の子どもが入所が増加している中、障害のある園児に対する保育環境整備の一環として、香里団地保育所に新たにエレベーターを設置するための実施設計委託を行いました。</p> <p>令和元年度決算：594,493千円※補正予算対応あり</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

(4) 公立幼稚園における3歳児保育と子育て支援策の充実	
方向性	平成30年11月に策定した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」に基づき、公立幼稚園では、3歳児保育を実施するとともに長時間の預かり保育など子育て支援策の充実を図ります。
取り組み	<p>少子化が進む一方で、依然として保育需要が増加傾向にある中で、公立幼稚園では、3歳児保育、長時間の預かり保育と1・2歳児の小規模保育を組み合わせた「枚方版子ども園」など子育て支援に取り組むとともに、令和元年（2019年）10月から実施予定の幼児教育無償化への対応を行います。また、蹉跎西幼稚園については、令和2年度（2020年度）末に閉園とし、生み出された財源については、保育需要等の動向を踏まえながら子育て施策の充実に活用していきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における3歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：80%以上 ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：80%以上
実績	<p>平成31年4月から、市立幼稚園7園中6園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）において、新たに3歳児保育を実施するとともに、幼児教育の充実と、保護者の子育て支援・就労支援の更なる充実を図るため、預かり保育の実施時間を7時から19時までに拡充しました。</p> <p>また、保護者のニーズを的確に把握するため、預かり保育に関する保護者アンケートを実施するとともに、国が平成31年10月から実施した幼児教育の無償化に対応するため、使用料等の取り扱いを改めて整理しました。</p> <p>令和2年度（2020年度）末に閉園する蹉跎西幼稚園について、子育て施策の充実に活用できるよう、様々な部署と検討を行いました。</p> <p>《実績値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における3歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：97.9% ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：82.7% <p>令和元年度決算：105,695千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【◎】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
24. 保育料の改定	国が進める幼児教育・保育の無償化の進捗や、他市の動向を踏まえながら、保育料の水準について検討します。

実績	市独自の第3子以降の保育料無償化を引き続き実施するとともに、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化について遅滞なく実施した。さらに、令和2年4月からの第2子以降の無償化を含め、保育料の改定について検討のうえ、平成31年度中に取り組みを進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 × 】	

改革課題	取り組み内容・目標
35. 市立幼稚園の効率的・効果的な配置	<p>就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランに基づき、平成31年度より市立幼稚園3歳児保育・長時間の預かり保育を実施するとともに、4園では1・2歳児の小規模保育と連携した「枚方版子ども園」をスタートさせます。また、令和2年度末（2021年3月）に市立蹺跢西幼稚園を閉園します。</p> <p>「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」において令和2年度（2020年度）末に蹺跢西幼稚園を閉園することとしています。その他の園については、今年度の状況を踏まえ、3歳児の定員数や人員配置等を検討し、地域に開かれた就学前施設として子育て支援を充実していきます。</p>
実績	蹺跢西幼稚園について、公立施設に新たに求められる役割や必要性を考慮するとともに、子育て施策の更なる充実を図るため、令和2年度末で蹺跢西幼稚園を閉園し、新たに「待機児童用保育室」として活用することとしました。また、市立幼稚園7園中6園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹺跢・田口山幼稚園）において、新たに3歳児保育を実施するとともに、幼児教育の充実と、保護者の子育て支援・就労支援の更なる充実を図るため、預かり保育の実施時間を7時から19時までに拡充しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
43. 公立保育所の民営化	平成31年4月に、走谷保育所を民営化しました。さらに、平成30年11月に作成した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」に基づき、渚保育所と渚西保育所について、令和3年度（2021年度）を目途に民営化し、施設の統合に取り組みます。
実績	<p>平成31年4月に走谷保育所の民営化を実施し、運営法人による保育を開始した。また、法人により園舎の増改築を行い、令和2年4月に30人の定員増を実施した（90人→120人）。</p> <p>なお、渚保育所・渚西保育所の民営化方針を受け、令和元年11月に枚方市立保育所民営化に係る運営法人選定審査会を設置。令和2年2月に審査会から答申を受け、運営法人を決定した。</p> <p>まずは、令和2年度中に引継ぎを行い、令和3年4月に、渚保育所の民営化を実施す</p>

る。 渚西保育所についても令和3年度中に引継ぎを行い、令和4年4月に民営化を実施する。渚西保育所の民営化と同時に、渚・渚西保育所の2園を統合し、新園舎に移転を行う。	
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
45-2・45-3 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（児童福祉施設用務・営繕業務）（児童福祉施設調理業務）	児童福祉施設における用務・営繕業務のうち、平成31年4月に開設したひらかた子ども発達支援センターの清掃業務を外部業者に委託しました。その他の児童福祉施設についても、引き続き委託可能な業務の整理を行います。 また、調理業務については、将来的な民間活力の活用に向け、安全・安心な給食を安定的に提供する体制を確保する中で、委託可能な範囲について検討を進めます。
実績	将来的な調理業務のあり方について、民間活力を活用し、効率的・効果的な運営を図りつつ給食の質や安全面を維持するため、また、献立内容の充実や食物アレルギーのある園児に対する、きめ細かな対応等について検討するため、引き続き、調査研究に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
部内横断的な職場研修の実施	子ども未来部の業務などに係る研修について、部内全体に参加を求め、部内横断的に知識を習得し、市民サービスの向上につなげます。また、部内各課が連携し複数日程により分散して実施することで、窓口対応などの業務維持を図ります。
実績	部内各課の職員に対して、部内横断的に公務員倫理等の研修を行うとともに、業務上必要な職員に対しては、保育所入所にかかる制度についての研修を行い、市民サービスの向上に努めました。また、研修日程を複数日に設定することで、業務に支障が出ないように配慮しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆子ども・子育て支援法に基づく大阪府待機児童対策協議会に参加し、小規模保育改修費等支援事業などの保育対策総合支援事業費補助金の補助基準額のかさ上げの財政支援を受けることで、財源を確保します。補助基準額 35,000千円（通常は、22,000千円）

実績	小規模保育改修費等に係る事業について、法人の応募がなかったため、令和元年度（2019年度）は本補助金の確保に至りませんでした。今後、小規模保育事業に係わらず、施設改修については国等の財源確保に努めます。
取り組みに対する達成状況	
【 × 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆毎月行う課長以上による部の連絡会議の開催により、遅滞なく部内における課題や今後の方向性を確認し、スムーズな事務執行に努めます。また、その内容を各課において、速やかに課員と共有化を図り、スピード感を意識しながら課題解決に取り組みます。

実績	毎月、課長以上による連絡会議を開催し、部内の横断的な課題や方向性の確認を行い、各課において共通認識を持った上で、課題解決に向けて取り組みを進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆今年度においては、部内の全課で新入職員が業務にあたるため、各課で選出したメンター（指導育成者）が中心となって、新入職員の成長を支え、目標設定や定期的な振り返りを行うことで、効果的な人材育成に努めます。

実績	新入職員に対しては、各課のメンターを中心として、定期的な面談を実施し、目標設定や到達確認を行いました。また、職場全体においても、業務の基礎的知識や職場における実務能力の習得を目指し、継続的に人材育成に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」を活用し、居住地や子どもの年齢などに合わせ、イベント情報や健康診断の通知を行うなど、市民一人ひとりの状況に応じたきめ細かい情報発信を行います。また、枚方市ホームページ内の枚方市定住促進サイトにおいて、子ども青少年部で取り組んでいる子育て支援等を動画等で効果的にPRし、市外の子育て世帯等を含めて広く枚方市の魅力を発信します。

実績	子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」については、保育士の目線で子育てを頑張っている保護者に応援メッセージを伝えるブログ「ほいくしのホットコラム」を開設するなど内容の充実に努めるとともに、アプリのミニ講座の開設や産婦人科へのチラシ掲示など事業周知に努めるなど、適時な情報発信に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆「結婚新生活支援補助金」については、新婚夫婦に新たな住まいとして本市を選んでいただけるよう、広報紙やホームページのほか、不動産協会、宅地建物取引業協会などを通じた事業者への周知や、住宅展示会などのさまざまな機会を通じて積極的なPRに取り組めます。

実績	広報紙やホームページのほか、市民室窓口等でのチラシ配布、不動産協会や宅地建物取引業協会への制度周知依頼、不動産関係業者へのチラシの設置依頼などの積極的なPRに取り組めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】